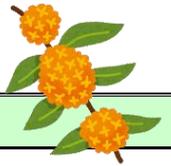




# 11 月行事予定



日	曜	予 定
1	金	終日 SAAB 準備期間
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	SEISA Africa Asia Bridge (SAAB) 2019
10	日	
11	月	SAAB 片付け ビジネスマナー検定
12	火	SAAB 振替休日
13	水	SAAB 振替休日
14	木	
15	金	家庭料理技能検定
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	授業参観 (am)
20	水	↓ パソコン検定
21	木	
22	金	
23	土	勤労感謝の日
24	日	
25	月	全校集会
26	火	
27	水	星槎オリンピッククリエイティブ部門リハーサル：出演者のみ (カルッツ川崎)
28	木	星槎オリンピッククリエイティブ部門本番 (カルッツ川崎)
29	金	
30	土	

## ～ 12 月の予定 ～

- ・ 2 日 (月) ～ 4 日 (水) : 後期中間試験
- ・ 5 日 (木) ～ 11 日 (水) : 生徒面談 / 体験学習
- ・ 12 日 (木) ～ 19 (木) : 答案返却特別時間割
- ・ 13 日 (金) : みかん狩り、保護者面談期間 (～ 21 日 (土))
- ・ 14 日 (土) : 保護者会
- ・ 18 日 (水) ～ 25 日 (水) : 冬補充授業期間
- ・ 20 日 (金) : 冬休み前最終登校日 / 全校集会
- ・ 23 日 (月) ～ 1 月 5 日 (日) : 冬休み



# 星の槎

星槎高等学校

令和元年度

11月号



## 「SEISA Africa Asia Bridge 2019」の成功を願って

星槎中学高等学校 校長 金子 肇

皆様におかれましてはますますお元気にお過ごしのことと存じます。さて、昨年引き続き、「SEISA Africa Asia Bridge 2019」を、11月9日（土）と10日（日）の両日にわたって開催します。

昨年の「SEISA Africa Asia Bridge 2018」では、21カ国のアフリカの大使館の要人をはじめ、アジアの国々から35カ国の人々、保護者や若葉台地域、そして保護者会OB「わかば」の皆様方の多大なご協力のもと、7000名を超える人々が参加して盛大なイベントとなり、多くの成果をあげることができました。ご多忙の中、とりわけ保護者の皆様方には、絶大なご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

今年の「SEISA Africa Asia Bridge 2019」に関しては、外務省、横浜市等の関係者をはじめ、アフリカの大統領からすでに大使など17カ国以上の大使や要人、そしてアジアの国々から25カ国以上の人々が参加していただけることになっていて、生徒たちにアフリカ等を「知る」「感じる」「考える」「つながる」の目標の実現をめざし、未知への挑戦的な学習を一層充実させることができるとともに、アフリカの国々等との交流を一層深めたいと考えています。

話は変わりますが、先般、ニューヨーク海外研修プログラムで、星槎の中学生・高校生27名が国際連合「UNDP」（開発計画）を訪れ、「SEISA Africa Asia Bridge 2018」の「子ども宣言」や「活動報告」をしました。その成果が高く評価され、初めは20分の予定の訪問時間が1時間を超える異例のミーティングとなり、生徒たちの堂々とした発表や国連への様々な質問の素晴らしさに私自身感銘しました。国際連合「UNDP」訪問の様子は、国際連合のホームページにも掲載されています。

保護者の皆様方には、すでにご準備にお手伝いをいただいているたくさんの皆様方がいらっしゃいますが、ご多忙の折恐縮ですが、「SEISA Africa Asia Bridge 2019」が成功裡に終わりますよう、絶大なご協力をお願い申し上げます。

# SAAB2019～「共生社会の実現」へのヒント



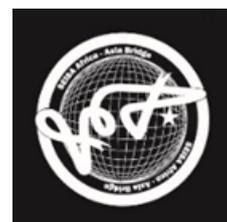
11月9日（土）・10日（日）の2日間にわたり、“SEISA Africa Asia Bridge”（『星槎アフリカ-アジアブリッジ：S A A B』）が開催されます。アフリカ、アジア、太平洋の島国を知り、お互いを認め合い、繋がる懸け橋となることを願って行われる SAAB は、今年で第5回を迎えます。両日とも一般公開での開催となります。

世界の中で最も変化の大きな地域として注目をされているアフリカとアジア。人々が持つ多様性にも共生へのヒントが隠されており、関わりがさらに強くなることを目指しています。「知繋（ちけい）」をテーマに、本物の音楽、文化、スポーツ、食を体験することで、アフリカ・アジアの真実を知り、仲間と繋がります。またパラリンピアの方々などの講演やディスカッション、プレゼンテーションを通して、子供も大人もみんなで共通のテーマを考え、世界が繋がる2日間です。

生徒ブースは学年を超えたさまざまなグループにまとまり、企画・運営をしていきます。教室企画・食品企画のグループ活動のほか、実行委員や有志生徒による舞台演劇「LINK」など、約1週間の準備期間を通して、学びを深め、仲間に伝える準備を行います。

公文書でお知らせした通り、生徒の最終下校時間は19時に変更となりますのでご注意ください。

さわらびの会、卒業生親の会わかば、さらに保護者有志による企画も準備が進んでいます。SAABを通じて、皆で繋がりましょう。



## SEISA Africa Asia Bridge 2019

### 【教室企画】

グループ	企画名（場所）	キャッチコピー	企画内容
A	仮想験の部屋～アフリカを覗く～ （3D 教室）	VR にて動画をみてアフリカにふれる。 カリンバ、お守りなどの簡単な作成体験	VR 体験
B	炒って・かいて・飲んでコーヒー （1A 教室）	コーヒーについての体験ブース	コーヒー焙煎体験
	LINK-IV （会議室）	回転舞台で繋がる、知繋エンターテイメント	演劇

### 【食品企画】

グループ	企画名	キャッチコピー	提供食品
A	モーモーチャーチャー	いろいろな食感があって面白い！ 合言葉はモーモーチャーチャー	モーモーチャーチャー （アジアンスイーツ）
B	アジアン焼きそばエエやん	アジアンな焼きそばはいかが？	焼きそば（アジアン主食）
C	持ってケバブ、食ってケバブ	今までのケバブとは一味違うぞ！	ケバブ（アフリカ主食）
D	今日チヂミにしない？	SAAB のおともにチヂミをどうぞ	チヂミ（アジア軽食）



# 雨ニモマケズ・・・! 歓声響く、体育祭!!



残念ながら小雨が降る中、霧が丘校舎に通う中学生との合同の今年の体育祭は、競技種目を限定しての開催となりました。準備期間には有志生徒たちが、学期目標チェックの時間にグラウンドに集まって「大縄跳び」や「集団行動」など自主的に練習を重ねてきました。それだけに、皆の心の中に、開催したいという気持ちが強くありました。中・高校生の短距離走、中学生の組体操、高校生の集団行動と空手道演武、そしてファイナルリレーを午前の時間いっぱいかけて実施しました。短距離走の最後の走者メンバーは事前に打ち合わせをされていて、スタートのピストル音で駆けださず、その場で皆転ぶというジョーク・パフォーマンスで皆を盛り上げました。ファイナルリレーは若さ爆発! 自慢の脚力を披露し、僅差の見事な競い合いを見せてくれました。天気には恵まれませんでした。皆の歓声と笑顔に満ちた体育祭となりました。



スタートのピストル音で駆けださず、その場で皆転ぶというジョーク・パフォーマンスで皆を盛り上げました。ファイナルリレーは若さ爆発! 自慢の脚力を披露し、僅差の見事な競い合いを見せてくれました。天気には恵まれませんでした。皆の歓声と笑顔に満ちた体育祭となりました。



## 後期インターンシップを終えて

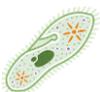
10月21日からの1週間(即位の礼の22日は除く)、2年生キャリアコースの生徒を対象とした、後期のインターンシップが実施されました。保育園や老人ホーム、またスーパーマーケットや飲食店などさまざまな「職場」での体験活動は生徒たちにとって大きな学びとなりました。責任を伴う自らの活動の重要さを、まさに身をもって感じた2年生。3年時の進路決定だけでなく、今後の人生において役立つ貴重な体験となったことでしょう。



## マッケンジー・ソープさんを囲む絵画展



世界的に活躍する英国ベストセラー画家であり星槎大学客員教授でもあるマッケンジー・ソープさんが10月24日に来校され、本校体育館にて「囲む絵画展」が開かれました。展示された多くの作品を鑑賞した生徒たちは、作品についてまたご自身の人生観など多岐にわたってお話を伺いました。生徒からの数多くの質問があり、その一つ一つにマッケンジーさんより丁寧に、そして熱いお言葉を返していただきました。さらにマッケンジーさんに紹介した生徒作品にもコメントをいただくなど貴重な学びの時間となりました。参加した保護者・地域の方々とともに心温まる学びのひと時を過ごすことができました。



## ～地域連携・高大連携プロジェクト～

### 「大貫谷公園微生物発見・捕獲大作戦」報告会

10月30日本校体育館にて、夏に山梨大学での学会発表で優秀賞を受賞した研究報告が全校生徒に向けて行われました。4年前に近隣の大貫谷公園を活用した学びについて地域の方よりお声をかけていただいたことに始まった研究は、生徒の間で毎年受け継がれてきました。地域や保護者の方の参加もいただき、ご指導くださっている星槎大学の森川和子先生の講演も行われ、目に見えない微生物について様々な学びの時間を持つことができ、身近なことから様々な事柄に関わり学ぶことを、これからもぜひ続けていこうと気持ちを新たにしました報告会でした。

